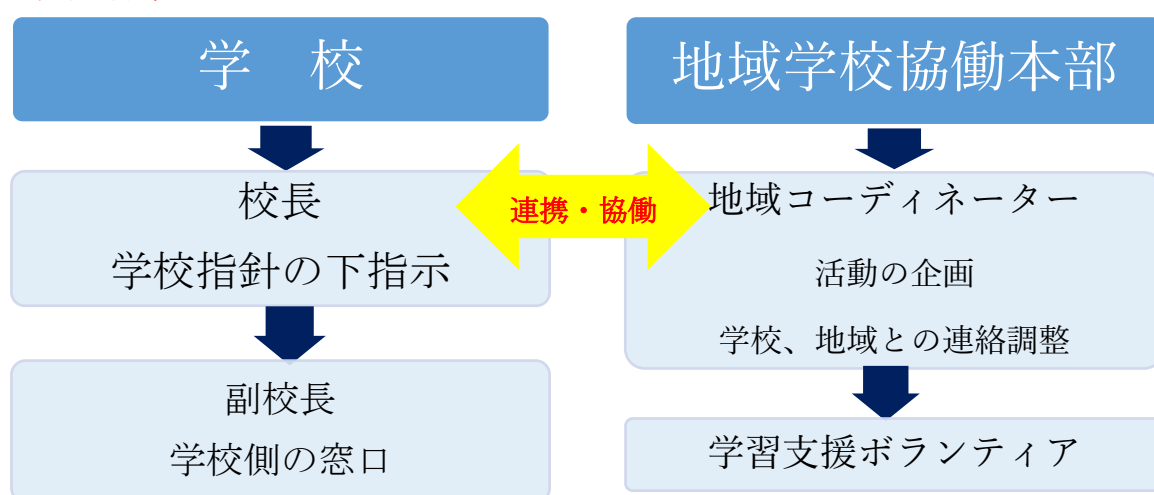


令和7年度「地域学校協働活動」について 支援から協働へ

本校に「地域学校協働本部」が設置されていることをご存じでしょうか？「地域学校協働本部」は平成 31 年東京都教育委員会が「東京都教育ビジョン」を策定し『「地域学校協働活動」の推進』のもと掲げられました。さらに令和 2 年度には国庫補助事業としての助成も受け、今後重要な活動として位置づけられています。「学校支援活動を柱として、地域住民の参加を得ながら『学校を核とした地域づくり』を目的とした活動」と言えばイメージしやすいでしょうか。

地域学校協働本部には地域コーディネーターが配置され、具体的な活動の企画や実行、学校、地域との調整、各種ボランティアの募集を行っています。また、学校側は地域コーディネーターの提案を受け、学校運営と照らし合わせながら一緒に活動を行っていきます。どちらかが支援する、支援されるのではなく協働（同じ目的のために、力をあわせて働くこと）作業で「学校内の活動を共に作り上げていく」取り組みなのです。

地域学校協働活動のイメージ



それでは本校における地域学校協働本部の活動をご紹介します。毎週水曜日の放課後に、地域コーディネーターが主催の『学びのサポート学習支援』と称する英語と数学の補習授業を行っています。基礎学力の底上げを図ることを目的とし、毎週参加できることを条件に参加者を募集しています。また、指導には地域コーディネーターが推薦した講師陣が当たります。

『学びのサポート学習支援』活動を中心に今後、第三中学校と第三中学校地域学校協働本部がさらに連携・協働を深めより良い地域、学校を創り上げていきたいと考えております。